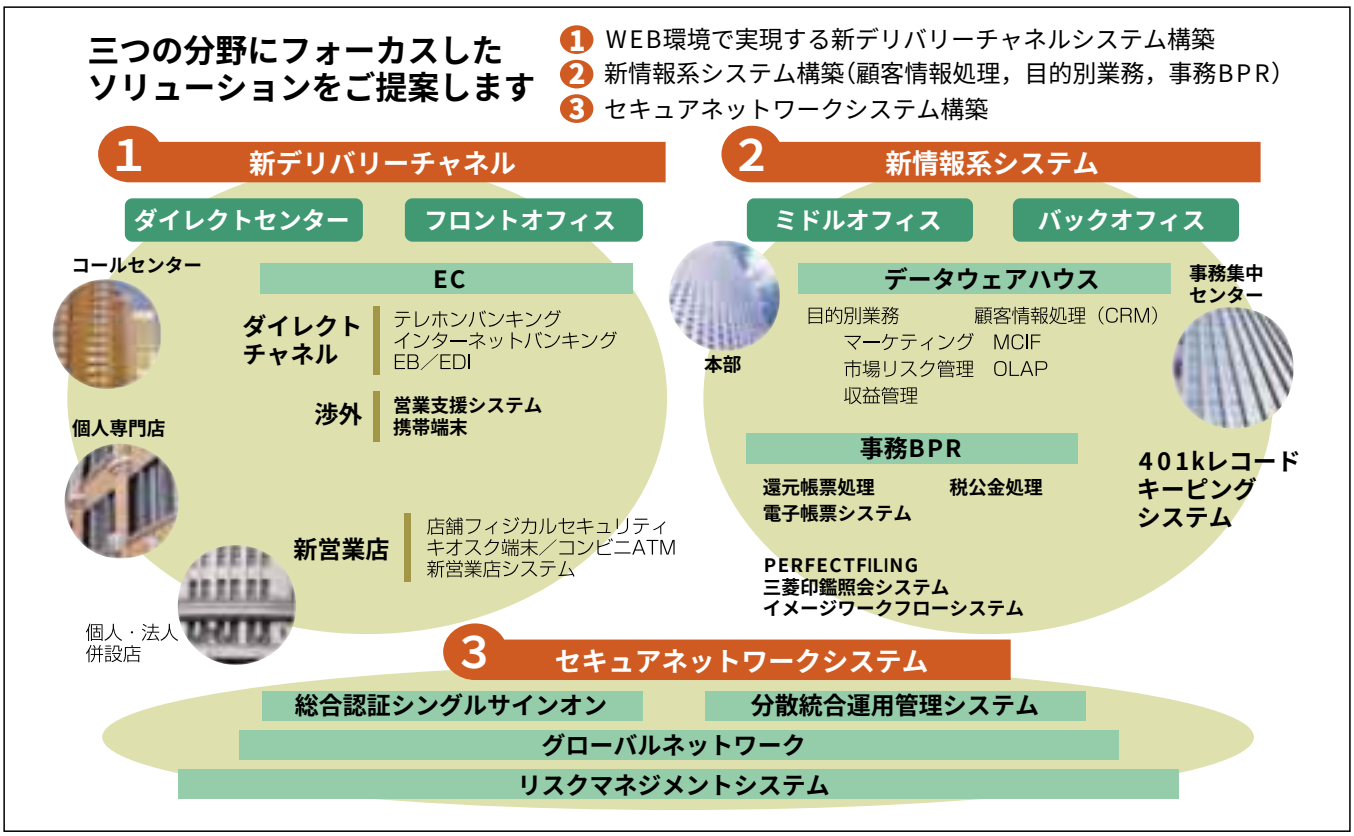
金融システムソリューション

林　博之*
星　久信**

要　旨

金融ビッグバンの本格化に伴い，海外の金融機関及び他業態からの金融市場への参入など，金融業界を取り巻く環境は激変し，競争が激化している。このような環境変化の中，金融業界では，ますますIT投資がその競争力の源泉として認識され，新しい金融サービスに対応するため，従来システムを継承しながら最新のIT技術を採用した情報システムの構築が重要なかぎ(鍵)となってきている。三菱電機は，金融業界におけるシステム事業参入に当たって，下図に示す金融システムソリューション“Total Financial Co.Solution(仮称)”の構築を進めている。このソリューションでは，現在の金融業界における情報システムを大きく基盤インフラ系，勘定系などの既存システム系，勘定系以外の新情報系及び新規チャネルへのサービスを提供する新デリバリーチャネル系に大別し，①Web環境で実現する新デリバリーチャネルシステム構築，②新情報系システム構築(顧客情報処理，目的別業務，事務BPR(Business Process Reengineering)など)，及び③セキュアネットワークシステム構築の三つの分野にフォーカスし，設計企画支援からシステム構築及び稼働後の運用・保守までを一括して請け負う統合型SI業務をソリューションの核とした事業の展開を進めている。

本稿では，そのソリューションの考え方と，その考え方に基づいた三つの事例，大規模ネットワーク構築事例，従来の大量の紙をベースとして取り扱われていた内部規格文書などの一括管理・検索を容易にする三菱金融文書閲覧システム“PERFECTFILING”，及びインターネットを用いたダイレクトサービス業務にPKI(Public Key Infrastructure)技術を採用した“生命保険ダイレクトサービスシステム”を紹介する。



金融システムソリューション概念図

三菱電機が提供する金融システムソリューションの概念図である。金融業界における情報システムをセキュアネットワークシステム，勘定業務以外を支援する新情報系システム，及び新規金融サービスのお客様との接点をつかさどる新デリバリーチャネルの三つに大別し，そこで実現できる各種業務を支援する情報システムの提供を目的としている。